

## 参考事例紹介 ※実際の事例を参考に一部改変等を加えています。

### 【体調不良の同居家族がいる場合】

- <事例>デイサービス通所者の息子が発熱のため受診し PCR 検査を受けたが、その間も施設へ通所。「息子が陽性」との連絡が入り、すぐに通所者を帰宅させたものの夜間に発熱し、翌日陽性判明。マスクなしで通所していたため、接触のあった職員・通所者は濃厚接触者となった。
- 同居家族の体調不良時は、通所を控えるよう促す、もしくは別室で個別対応を行う、座席の配置を変える等、柔軟に対応し接触者を減らす。

### 【接触機会を減らす】

- <事例>施設入所者が陽性判明。発症前日にマスクなしで A 棟と B 棟の入所者が一緒に手をつないでレクリエーションやカラオケを行っていたことから、参加した職員・入所者は濃厚接触者となった。
- 利用者同士の接触は可能な限り同じエリア内にとどめる。  
特に緊急事態宣言中は活動内容、回数を見直し、接触機会を最小限とすることで感染拡大を予防。

### 【緊急時】

- <事例>発熱のない利用者が、突然、腹痛を訴えうずくまった。急遽対応した職員はサージカルマスクのみで、フェイスシールド等は未着用。緊急呼び出しで集合した看護師もサージカルマスクのみであった。救急搬送後、陽性判明。身体接触した職員は濃厚接触者となった。
- 緊急時に速やかに着用できるよう PPE（個人防護具）を用意しておく。  
※発熱がなくとも下痢、頭痛等が初期症状の場合あり。また PCR 検査が陰性であっても、新型コロナに感染している事例もあるため、有症状者への対応には十分注意する。

### 【車の同乗】

- <事例>利用者が陽性判明。前日に、職員と一緒に施設の送迎車で医療機関を受診していたが、乗車が 15 分程度のため窓を開けて換気を行わなかった。同乗者は濃厚接触者となった。
- 短時間の乗車でも換気をする。  
※外気導入モード+車窓を開けて換気を行う。  
※運転席のみの窓開けの場合、後部座席に空気が流れ、逆に感染リスクが高まる場合あり。風の流れを考慮して換気の必要あり。